

東京都立東大和南高等学校 令和6年度 教科 地歴公民 科目 世界史探究

教科： 地歴公民 科目： 世界史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 7 組

教科担当者：（3～7組： 菅野 ）

使用教科書： 詳説 世界史

教科 地歴公民 の目標：

- 【知識及び技能】 古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄について理解すること。
- 【思考力、判断力、表現力等】 古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄について歴史的なものの見方や考え方について思考し、説明できること。
- 【学びに向かう力、人間性等】 古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄についての学習に積極的に取り組むこと。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄について理解すること	古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄について歴史的なものの見方や考え方について思考し、説明できること。	古代から中世に至るさまざまな歴史上の事柄についての学習に積極的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文明の成立と古代文明の特質 ①オリエントの風土と、その文明の歴史的な特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。 ③殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 ④中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。	・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明 教科書、資料集、プリント、小テスト、一人一台端末	【知識・技能】 ① 文明の誕生や、古代オリエント文明の成立について理解する。 【思考・判断・表現】 ① 文明の誕生や古代オリエント文明の成立に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 文明の誕生や古代オリエント文明の成立に関する学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	中央ユーラシアと東アジア世界 ① 遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。 ② 統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。	・中央ユーラシア ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成 教科書、資料集、プリント、小テスト、一人一台端末	【知識・技能】 ①中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ① 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	南アジア世界と東南アジア世界の展開 ① 古代インドの王朝や古典文化について理解し、思考や説明を行うことができる。 ② 東南アジア世界の形成について理解し、思考や説明を行うことができる。	・古代インドの王朝の変遷 ・インド古典文化 ・東南アジアの諸王朝 教科書、資料集、プリント、小テスト、一人一台端末	【知識・技能】 ① 古代インドの王朝や古典文化について理解する。 ② 東南アジア世界の形成について理解する。 【思考・判断・表現】 ① 古代インドの王朝や古典文化について歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② 東南アジア世界の形成について、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 古代インドの王朝や古典文化についての関する学習に、積極的に取り組んでいる。 ② 東南アジア世界の形成についての学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	西アジアと地中海周辺の状態形成 ① アケメネス朝、パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。 ② ギリシアの民主政、ローマ共和政の特徴について、比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ③ ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展 教科書、資料集、プリント、小テスト、一人一台端末	【知識・技能】 ① アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 ② アテネやローマにおいて、どのような経緯で民主政・共和政が出現したのか、またギリシア・ローマ文化にはどのような特徴があるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ① ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ② 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ② 古代ギリシア・ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り	○	○	○	8
定期考査				○	○		1
3 学 期	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ① イスラーム成立後のイスラーム世界の拡大について理解し、思考や説明を行うことができる。 ② イスラーム諸王朝の変遷について理解し、思考や説明を行うことができる。 ③ 中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。 ④ 封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤ 中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。	・アラブの大制服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の諸地域への伝播 ・西アジアの動向 ・西ヨーロッパの封建社会とその展開 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化 教科書、資料集、プリント、小テスト、一人一台端末	【知識・技能】 ① イスラーム成立後のイスラーム世界の拡大について理解できている。 ② イスラーム諸王朝の変遷について理解できている。 【思考・判断・表現】 ① イスラーム成立後のイスラーム世界の拡大について、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② イスラーム諸王朝の変遷について、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① イスラーム成立後のイスラーム世界の拡大についての学習に、取り組む姿勢がみられる。 ② イスラーム諸王朝の変遷についての学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1 合計 53